



大野北公民館 利用協通信

第36回公民館まつり特集 平成29年6月16～18日



公民館まつりを終えて・・・！

まつり実行委員長 上遠野 イク子
風薫る6月、第37回公民館まつりが開催されました。昨年の内からの呼びかけ、準備等、毎年、実行委員の皆さんは淡々と熟していました。今年は参加された方が、少し減りましたが、素晴らしい演奏、コーラス、踊り、展示作品は心に残ります。学習会、キッズコーナー、体操と盛りだくさんです。18日は屋外での焼き鳥、焼きそば、屋内でのうどん、と皆さん手作りのメニューが有りました。

公民館に集う仲間が少なくなって行く事は寂しいですが、これからも声かけして行きたいと思えます。公民館の皆さん、実行委員の皆さん、来館して下さった沢山の皆様、本当に有難うございました。

学習部門からの報告

学習部門担当 猪口 敦子

【地域史を知るとおもしろくなる】

今年もまつり期間中に学習会を開催。「本当？ 町田は神奈川県だった？！」と題して町田市立自由民権資料館学芸員の松崎稔さんにお話をうかがいました。

三多摩地域が明治のはじめは神奈川県だった・・・神奈川県初の代議士は町田野津田出身の人だった・・・東京に移管した背景には奥多摩の水源に関わる水利権や自由民権運動が関係したこと等々楽しい

話術に引き込まれた時間でした。身近な地域の歴史を公民館で聞けるのを回覧板で知り、楽しみにきましたと91歳の女性が息子さんと参加されていた事も嬉しいことでした。公民館まつりを通してまた、うれしい出会いが広がりました。

現代社会においては知識を個人的得ることは様々な手段でできますが、人が生身の声から得ること、仲間の中で学ぶことなどは貴重な又、大切にしたいことだと思います。

これからも社会教育の場として公民館に於ける学習の権利を守り、引き継ぎたいと思った今年の夏でした。



【子ども・教育を考えた・・・映画会】

相模原市内の廃校になった学校のドキュメンタリー映画「小さな学校」がいいよ！との声を聞き、事前に観た途端にもっと多くの人と観たいになりました。企画提案したところ、まつりのなかでやろうよ！になり、開催。昨年の橋本で開催された「さがみ人間未来フィルムフェスティバル」でも話題になった作品だったとか・・・。思いがけなく制作者とそこの小学校最後の卒業生も同席してくださり、映画の前後にお話も聴くことができました。

子どもの力の大きさ、凄さに圧倒され、豊かな教育と触れ合いに目が離せず、教育とは何かと深く考える機会となりました。多くの方が感想文を寄せてくれたことからその事を感じました。もっと色々な所でこの映画会やましようよ！との声もかけられ、やって良かったと思えました。

展示部門「公民館まつりによせて」

展示部門 書道の会B 久能 是枝

展示部門として、たくさんのグループの方々に参加頂きました。3Fロビー・中会議室・小会議室1と2に日頃の成果の集大成として、皆様の力作が展示、発表されました。

ここに来るまでの準備の大変さは言葉では言い表せない事と思います。展示部門は何回かの集合の際も集まりが良く、スムーズに進行したのではと思います。たくさんの方に来場頂き、素晴らしいとお言葉等で激励して頂き感謝です。



問題点も色々ありましたが、準備の段階では一回位参加して頂けたらと思いました。展示方法も、来年度は少し良くなる様にとの意見も出ました。色々な意見の中で、無事に終了した事への評価と、公民館まつりが一層発展的に開催される事を念じる点が多かったと思います。皆様の御協力、本当に有難うございました。

屋外部門からの報告

【利用協バザー】 バザー担当 中村 由起子

今年も昨年同様にサークルの方々のご協力によりまして、値付けから販売と恙無く終える事ができ、心からお礼を申し上げます。

今年は特にカバン類・袋物、又は、アクセサリやお花の壁掛け等の手作り品も多く、目でもタップリと楽しむ事ができました。地球にやさしいエコバッグ類も大変好評でした。

十時の開店前から長蛇の列で、品物が足りるかなあと不安もありましたが、午後二時頃には、ほぼ完売しました。これもひとえに皆様方の御協力の御蔭です。感謝します。

これからも御協力よろしくお願い致します。

【屋外ステージに参加して】

守礼三線友の会 徳満 博子

雨が心配される6月18日(日)に、屋外ステージのトップを飾り、10時45分に早目のスタートとなりました。三線の演奏と共に、沖縄民謡と歌が始まりました。お客様が少なかつたらどうしようとか思っていました。意外にも沢山の人が手拍子などつけて呉れ、楽しい演奏と歌を7曲披露する事が出来ました。

大野北公民館まつりに参加するのは4年目ですが、年に一度の発表の場ですので、半年位前から、この日に向けて練習をしてきました。この様な場所を提供して頂き、本当に有難く思っています。

雨は、屋外ステージ最後の桜美林大学エイサーが終了するまで待ってくれました。

私達も、また一つ思い出が追加されました。役員の方々、関係者の皆様、本当にありがとうございました。サークルを代表しまして、お礼申し上げます。

来年も、出演できることを楽しみに、練習に励んで行きたいと思っています。是非また、成長ぶりを聴いて頂けたら、幸いです。



音楽のつどい

GALAX-SING 緒方 ゆみ



今年の「音楽のつどい」例年より早い時間の開催。公民館内には、お祭りを楽しむ方々が、まだ多くいらっしやる中での開演となりましたので、いつもよりもたくさんのかたに御耳を傾けて頂けたのではないかと思います。

出演は毎年、公民館まつりを支えて下さっているお馴染みのサークルを始め、今年初参加の若い世代、そして、ママに抱かれた0歳の赤ちゃんもステージに！幅広い年齢層が同じ場所で楽しむことができる公民館らしい「つどい」になっていたのではないのでしょうか。

つどいの最後は「中央区の歌」の全員合唱。誰もが笑顔で信じあい、希望またたく未来広がる中央区の魅力を学び、全体合唱に参加して下さった皆さんの心を歌でつなぐ事ができました。

芸能のつどい

【公民館活動に参加して】 往還雅楽サークル 遠藤 勉
シニア世代でサッカー遠征をした時だった。奈良方面を観光中、心にしみる不思議な音に遭遇した。あの音色は何だろうと仲間の声が聞こえた。

あれは雅楽だよ。若い時に少し経験した私は懐かしさもあり、簡単に説明した。我々にも出来るかな？

それがきっかけとなり、往還雅楽サークルが誕生しました。歴史ある大野北公民館まつりにも参加させて頂き、未熟なサークルではありますが、研鑽の場として頑張っています。ただ、音の出る楽器ですので、公民館で練習中、まだ未熟な音だけに、他のサークルの皆さんに迷惑をかけると思いますが、お許しください。

古式豊かな音を、何時か演奏できることを目標にして、公民館活動を楽しんでゆきたいと思います。先輩サークルの皆さん、ご指導よろしくお願ひします

【芸能のつどい全般】 実行委員会

出演者の皆様、見に来て下さった皆様有難うございました。担当として補足しておきます：

- ①出演者が減っています…踊りが顕著です
- ②芸能の特徴である多種類の出し物が少ない
- ③今年はフラダンス・ベリーダンス・雅楽等が特に盛り上げて下さいました

来年は、土曜日開催が濃厚です。準備を宜しく。

キッズコーナー



家では作らせて貰えないであろうクラフトテープを思う存分使って作品を作り上げていて、とても満足そうに楽

しんでいたのが印象的でした。これも恒例になった囲碁体験教室が行われ、大勢の子どもたちが囲碁の楽しさを体験してました。今年も桜美林大学の学生さん達が大量ボランティアとしてコーナーを担当してくれました。若いパワーで公民館まつりを支えてくれてとても助かっています



料理部門から：公民館まつりを終えて

料理部門 稲垣 えみり

今年も6月16日～18日の三日間、4つの料理サークルから、毎年恒例。好評の“うどん”を販売させて頂きました。こだわりのつゆとトッピング。「おいしい！」と毎回食べに来て下さるリピーターの方も多く、250食程を準備しますが、瞬く間に売り切れ！食べ損ねてしまう方もいらっしやいます。まだ祭りのうどんを食していらっしやらない方は、来年こそ是非とも早目に足を運んで下さいね。



チャリティ募金、有難うございました！

今年も6回目の義援金募集を行い、総額 38,842 円の募金を頂くことが出来ました。内訳は、模擬店等に参加頂いたサークル・団体（ゆうゆう押し花、青少指、わかな会大野北、絆の会、エンゼル、エリア会、ノラ、利用協、まつり実行委員会）から 27,020 円、募金箱からは 5,360 円のご提供を頂きました。この義援金は熊本県（熊本地震）に 19,842 円、岩手県大船渡市（東日本大震災）に 19,000 円を送付させて頂きました（まつり実行委員会）

皆様から物品をご提供頂いた利用協バザー、売上金 57,330 円をあげることが出来ました。うち 5,000 円を災害義援金に拠出し、残額は利用協の運営資金として活用します。有難うございました。

（利用サークル協議会）